

発行：2017年9月15日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
 連絡先事務局 〒753-0221 山口市大内矢田北3丁目9-1 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
 ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

＝毎日新聞記事掲載＝

17年(平成29年)9月14日(木)

企画特集

6

毎日地球未来賞

前回受賞

NPO 法人シャンティ山口

前回受賞

NPO 法人 シャンティ山口

毎日

地球未来賞

「食料」「水」「環境」の各分野で問題解決に取り組む団体や個人を顕彰する「第7回毎日地球未来賞」（毎日新聞社主催、クボタ協賛）の応募を受け付けている。大賞の「毎日地球未来賞」受賞者には150万円が授与される。応募は10月10日まで。

応募は10月10日まで

毎 日 新 聞

21

生活道路にスリップを防ぐ石を埋め込む住民ら



少数民族を支援

2016年度の毎日地球未来賞は、タイ北部の山岳地帯で少数民族の支援に取り組む特定NPO法人「シャンティ山口」（山口県周南市）が選ばれた。「自立」をサポートする活動に徹し、教育や医療支援のほか、近年は持続可能な農業の普及にも力を注ぐ。

活動するタイ北部のラオス国境には、ベトナム戦争や内戦の影響でラオスから逃れた難民やその子孫らが暮らす。同NPOは1993年の設立以来この地域にこだわり、保育園や学生寮の建設、タイ語の読み書き指導などを通じて貧困や不衛生な生活環境といった難題と向き合ってきた。

現在支援する村では、資金不足で頓挫していた保育所の再建事業

自立育む種をまき

が受賞を機に再開された。賞金（150万円）でメドが立ったためだ。今秋にも測量を始め、19年1月ごろの完成を目指す。佐伯昭夫事務局長（左）は「住民集会で報告したらみんなに笑顔が広がった。そんな時が一番の喜びです」と話す。タイ北部では、遺伝子組み換えトウモロコシの栽培が進められてきた。しかし、森林伐採で洪水を招き、農業の乱用が土壌の力を弱めたり、健康被害をもたらしたりしたという。同NPOは持続可能な農業への転換を図るため、安定収入が見込めるラムヤイ（リュウガン）やマンゴーなど果樹の苗木を配り、栽培方法の指導などにも力を入れている。

「自立の心は今日明日のことだけじゃなく、未来を考えられるようになって生まれる。そんなサポートを、現地の行政も巻き込みながら続けていきたい」と、佐伯さんは語る。【千脇康平】



飲み水の水源が枯渇し、水道管を敷設する住民たち。遺伝子組み換え作物の栽培で森が荒れたのが原因だった川いづれもタイ北部のラオス国境地域で（シャンティ山口提供）

～環境支援募金にご協力をお願いします。～

20170915saeki